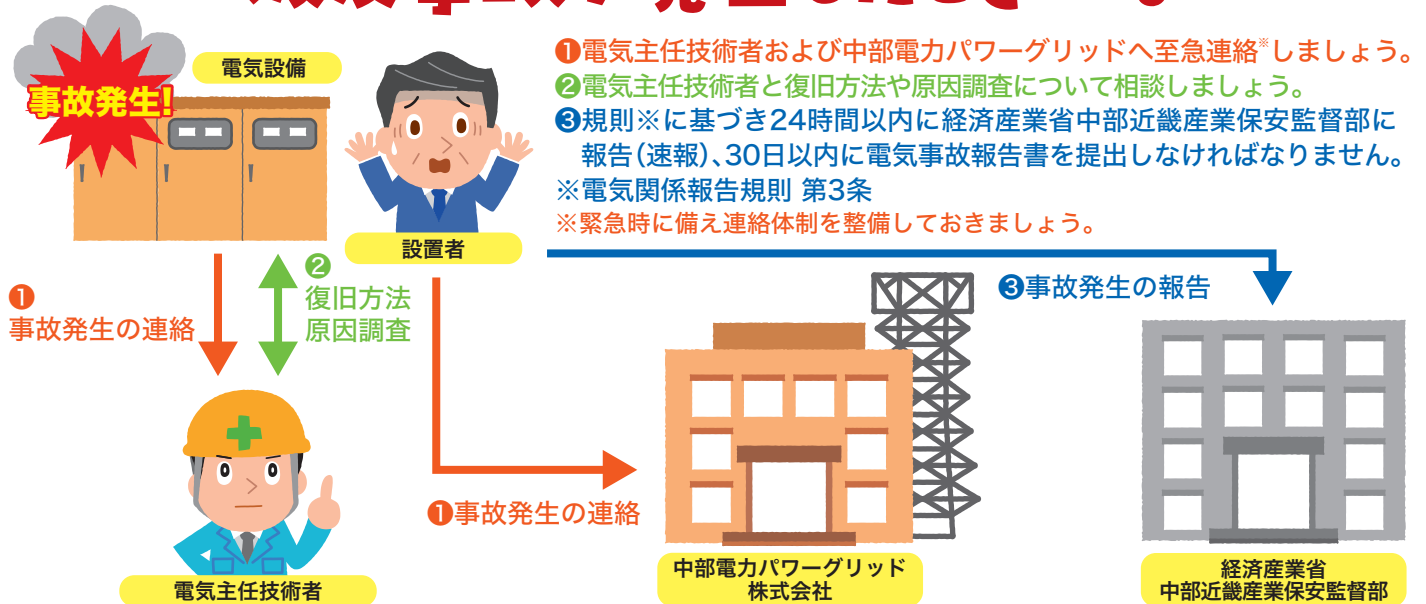


小動物などの接触における 各種波及事故防止対策



<p>AOGの高圧充電部にカラス接触</p>  <p>高圧充電部が露出している開閉器に鳥や蛇が接触し、波及事故に至ります。</p>	<p>屋内受電室のLBSに蛇が接触</p>  <p>キュービクル式以外の受電設備は小動物が侵入できる経路が多く、侵入した小動物により波及事故に至ります。</p>	<p>キュービクル内にネズミの糞</p>  <p>小動物がキュービクル内部へ侵入し、高圧機器の充電部に接触したことで波及事故に至ります。</p>
<p>▼ 対策 ▼</p>		
 <p>充電部が露出していない開閉器に交換することで波及事故を防止する。 【避雷器内蔵を推奨】</p>	 <p>受電設備の更新際にはキュービクル式に交換することで波及事故を防止する。</p>	 <p>小動物出入り可能な隙間を塞ぐことで、波及事故を防止する。</p>
<p>AOG上部にカラスが営巣</p>  <p>電気工作物への樹木接触や小動物の営巣状況については、設置者においても目視点検を実施するなど異常箇所発見に努めて下さい。</p>		

波及事故が発生したときには



適切な時期に更新することも必要です。

高圧設備の 各機器の 更新推奨時期(参考)

高圧受電設備の施設環境や、機器の使用状況によって更新時期が異なります。

高圧交流負荷開閉器	屋外用:10年または負荷電流開閉回数200回 屋内用:15年または負荷電流開閉回数200回 GR付開閉器の制御装置は使用開始後10年	高圧進相コンデンサ	15年
高圧CVケーブル	15年((一社)日本電線工業会調べ)	高圧配電用変圧器	20年
交流遮断器	20年または規定開閉回数	避雷器	15年

※参考:(一社)日本電機工業会「汎用高圧機器の更新のおすすめ」報告(2005年3月)

自家用電気設備事故防止対策連絡会

経済産業省 中部近畿産業保安監督部
(一社)中部電気管理技術者協会
(一社)日本配電制御システム工業会中部支部

(一財)中部電気保安協会
中部大口電力需要家協議会
電気安全中部委員会

中部電力パワーグリッド株式会社
中部電気工業組合連合会

協賛

(一社)日本電設工業協会 東海支部
(公社)日本電気技術者協会 中部支部

(順不同)